

好学尚武

実戦を経て・・・

先週末は6月1日(市高の開校記念日)が月曜日だったこともあり、土日月と3連休でした(実は県内、6月1日が開校記念日の高校は結構あります=今年はその中の1校、南稜高校と試合。また不思議なのは同じ敷地にあるにも関わらず、開校記念日で休みなのは高校のみ(中学校は通常授業)。中学生、ちょっと可哀想な気が・・・)。

話を戻しましょう。市高野球部は現在、選手が3学年で36名、おかげ様で、1つの会場で試合を行うには少々人数が多い感じになっているため、2つのチームに分かれて活動しています。よってこの3連休、毎日ABチームそれぞれ2試合ずつ(Bチームが最終日1試合だったので)計11試合行うことができました。

様々な考えあると思いますが、私はとにかく実戦重視という考え方です(練習の発表会をして、その出来栄を競う競技ではありませんので・・・)。真剣勝負で行う実戦形式や練習試合で個人の力、チームの力をつけていくべきだと考えています(投手や捕手の人数がそれなりにいるのであれば、毎日試合でも良いと思っています)。

3日間この11試合だけでも大きく成長するキッカケがあったのではないのでしょうか(上手くないプレー、試合が多かったからです)。そこでどう感じるか・・・練習より実戦形式の方がより多くのことを感じると思います。鈍感が悪です。忘れないようにして下さい。

すぐ次の週末が来ます。
引き続き頑張りましょう!

スクールウォーズ(続き)

ドラマのモデル、山口先生が死去された関係で、(私たちの世代では)当時のドラマ、スクールウォーズが話題になっています。結構熱い(いや熱すぎる)ドラマだったので数々の名言が残されています。今回はその中で私が覚えているものを書いてみようと思います。

- 外国人のラグビーコーチが来日して、地域住民(初心者)にラグビーを教えるシーンで・・・

確実にミスをしらない方法が1つだけあります。何もしないことです。でもそれは死んでいるのと同じことです。生きていて何かをすればミスをするのは当たり前です。人間には失敗をする権利があります。さあどンドンミスをしてのびのびとプレーしましょう!

→→→ 主人公の山口先生はこの言葉を聞き、自チームの練習がいつの間にか義務になってしまっていることに気付く・・・

- 山口先生は中学生の時、野球部に所属、その活動中、ミスをしたチームメイトに厳しい言葉をぶつけます(下手なヤツに下手と言って何が悪い、と・・・)その際、恩師の先生からかけられた言葉・・・

誰もエラーをしようと思ってするやつはおらん。三振しようと思ってボックスに入るやつもおらん。みんな一生懸命なんや。

野球は9人でやるもんや。

オマエ1人でやるもんやない。

人の心を思いやること。

それが愛というもんや。

相手を信じ、待ち、許してやること。

→→→ 野球のシーンだったからでしょうか?
ドラマで観てから40年ぐらい経っていますが、忘れられないです。

暴力シーンなどもあり、今の時代ではNGなドラマなのかも知れませんが、かといって、今がすべて正しいかと言われると・・・そんな感じです。